

超高齢社会・疾病予防をテーマに講義を行いました。

平成 26 年 6 月 23 日（月）の午前 10 時 30 分から、医学部大講義室において、医学部 3 年次生への統合臨床医学講義の中で、超高齢社会・疾病予防をテーマに講義を行いました。

今回は講師として、身延町早川町組合立飯富病院名誉院長の長田忠孝先生をお迎えし、先生が 30 年前に飯富病院に赴任されてからの地域医療への取り組みについてお話しをいただきました。

先生が飯富病院に赴任された 30 年前は、飯富病院でのがんの入院患者はほとんどないような状況だったそうです。そこで、まず行政と協力し、肺がんの早期発見を目指して肺がん検診を始めました。さらに、山梨県立中央病院と胸部 X 線の読影会を開催するなど、病院間連携を構築・拡大していかれました。その後は在宅療養の拡充をすすめられたそうです。先生の「入院・外来だけが医療のすべてではない」という言葉が非常に印象的でありました。

